## 班名

# 週報 第n回 週報タイトル

## 例) 単モータ型索状体ロボットの開発

岩瀬 研究室 23FMR23 貞末 祐希 指導教員 岩瀬 将美 教授

- 1 To Do List
  - 新規ヘビロボの作成
    - 論文調査
  - アクチュエータ考察
    - 単モータ型試作
    - 機構の設計
    - 前半部の作成
    - 関節部の作成

- 2 前回の週報内容
  - 単モータ型ロボットの作成
- 3 今回の研究概要
  - 論文調査
  - モータマウント製作
- 4 今後の予定
  - 論文調査
  - ペイロードの測定
  - 車輪をもたない推進機構
    - 環境構築
    - 設計

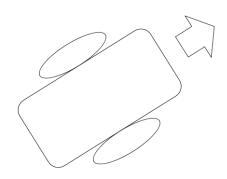


Fig. 1: Model of a two-wheeled mobile robot

#### 5 使い方

論文を提出する学会などが配布している TeX ファイルやそのスタイルファイルをこのディレクトリにコピペして、同様にビルドしてください. 私は「学会名.tex」に名前を変えて作成しています.

コピペ用のサンプルとしていくつか書き方をメモしておく. 追加して欲しい記述がありましたらお知らせください.

### 6 図の挿入,定義定理

定義 1 (2 輪車両システム). 2 輪車両型移動ロボット Fig. 1 を考える. このとき,以下のシステムを 2 輪車両システムと呼ぶ.

$$\begin{bmatrix} \dot{x}_1 \\ \dot{x}_2 \\ \dot{x}_3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \cos x_3 & 0 \\ \sin x_3 & 0 \\ 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} u_1 \\ u_2 \end{bmatrix} \tag{1}$$

**定理 2** (制御則). 2 輪車両システムを座標・入力変換 したシステムに対する制御則は

$$\begin{bmatrix} v_1 \\ v_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -|p(\xi)g_1(\xi)|^{\tilde{s}/3} \operatorname{sgn}(p(\xi)g_1(\xi)) \\ -|p(\xi)g_2(\xi)|^{\tilde{s}/3} \operatorname{sgn}(p(\xi)g_2(\xi)) \end{bmatrix}$$
(2)

で得られる.

証明. 参考文献 [1] を参照.

### 7 数式の微調整

**命題 3.** 行列をゆとりをもって書くには \renewcommand{\arraystretch}{1以上} を使用する.

$$\begin{bmatrix} \frac{\partial V_{\theta}}{\partial \xi_{1}} \\ \frac{\partial V_{\theta}}{\partial \xi_{2}} \\ \frac{\partial V_{\theta}}{\partial \xi_{3}} \end{bmatrix}^{\mathsf{T}} = \begin{bmatrix} 2|\xi_{3}|^{3/2} \cos \theta \\ 2|\xi_{3}|^{3/2} \sin \theta \\ 2 \operatorname{sgn} \xi_{3} \end{bmatrix}^{\mathsf{T}}$$
(3)

場合分けを行う場合の書き方は以下の通り.

$$p(\xi) = \begin{cases} \frac{\partial V_{\theta}}{\partial \xi}(\xi, \theta) & : \quad \xi_1 = \xi_2 = 0 \text{ のとき} \\ \frac{\partial V}{\partial \xi}(\xi) & : \quad \text{それ以外} \end{cases}$$
(4)

注意 4. 定義, 定理, 命題, 注意などには通番号が付けされる. 通し番号としたくない場合には

\newtheorem{theorem}[definition]{定理}などの[definition]を削除する.

#### 8 ハイパーリンク

たとえば、定理 2 をクリックするとそこにジャンプできる. 前ページにある数式や図、参考文献の番号も同様. 参考文献をもう 1 つ出してみる [2].

#### 参考文献

- [1] 貞末祐希. タイトル. 学会誌名, Vol. 1, No. 1, pp. 1–2, 2024.
- [2] Yuki Sadasue. Title. In ex MSCS, pp. 1–2. MSCS, 2024.